

# 神戸の観光地から探る

## I 研究動機と研究目的

ある日、母に「神戸は外国人向けのスポットがあまりない。」と言われた。

その言葉について気になり、なぜ神戸には外国人向けのスポットが少ないのか、どうすれば増加するのか。また神戸を襲った阪神・淡路大震災についての関係もあるのではないかと考え、このタイトルを選んだ。

## II 研究方法

- 文献を用いての神戸についての外面的な調査（統計調査など）を行う
- 神戸に住んでいない方々へのアンケート調査
- 神戸の観光地についての文献調査・訪問調査
- 阪神・淡路大震災についての文献調査
- 以上を通しての観光プランの作製

## III 研究内容

### III- I 神戸についての外面的な調査

◎神戸市 人口およそ154万人の政令指定都市で、兵庫県の県庁所在市。

1868年の日米修好通商条約による神戸の開港より、多くの国から人々が移り住み、多様な文化が栄える。それは今にも続いていて、ファッションや文化などである。1995年に起こった阪神・淡路大震災により街はくずれたが、たくさんの神戸を愛する人々のおかげで現在はまち美しい街並みが広がっている。

○神戸市の区分と特徴

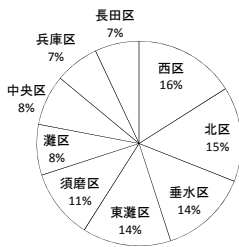
	人口 (万人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	特 徴
東灘区	21	30	6931	美術館や資料館が多く、文化の発信地となる区。
灘 区	13	32	4120	六甲山など、自然があり、住宅地としても有名な区。
中央区	12	28	4447	神戸市の市役所があるなど、中枢として発達している区。
兵庫区	11	14	7451	昔から瀬戸内海の中心となっており、歴史が残る区。
長田区	10	11	8872	人情が溢れる、中小企業のまちとして有名な区。
須磨区	17	30	5791	歴史のある南部と開発中の北部で構成される、大きく美しい公園が多い区。
垂水区	22	28	7869	平成10年に明石海峡大橋ができた淡路、四国への入口の区。
北 区	23	240	944	農村地域と開発地域が混ざり合う自然に恵まれた区。
西 区	25	138	1809	農村、ニュータウン、学園都市など、様々な顔を持つ区。
市全域	154	551	2797	

▲〈表1〉神戸市の区の特徴

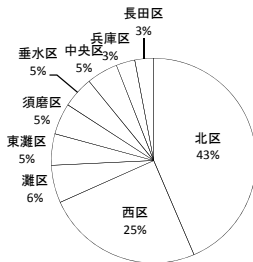
区分は〈図1〉を見て分かるように、9区に分けられている。

同じ市内でも〈表1〉に挙げた各区ごとの特徴のように、かなり違う点があることが分かる。（データは平成22年現在の値）

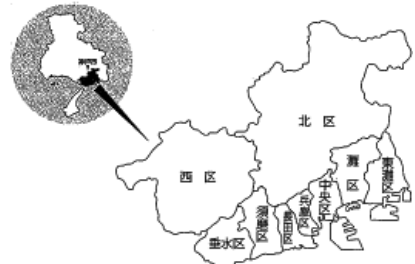
※人口・面積は〈グラフ2〉〈グラフ3〉に円グラフとして分かりやすく掲載。



▲〈グラフ1〉人口



▲〈グラフ2〉面積

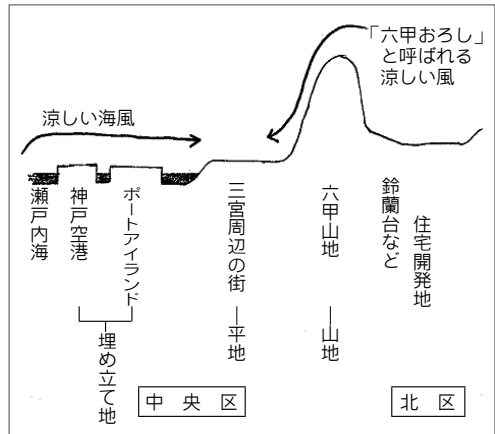


▲〈図1〉神戸市の区分

### ○神戸の地形について

神戸はとても海と山の距離が近い。そのため、平地が少ないので、人々が住む住居や、工業用地を増やすために、盛んに山の土を削って、その土で埋め立てをしてきた。それにより、西神ニュータウンや鈴蘭台などの宅地開発やポートアイランドなどの工業用地や学校、住居づくりなどの事業が進んだ。

また、夏でも山から吹く「六甲おろし」や涼しい海風の影響で、夏でも過ごしやすいような気候になっている。交通もほとんどが東西方向に走っており、南北方向は少なく、不便になっている。神戸の街は、この地形から多くの影響を受けているといえる。



▲〈図2〉神戸の地形図と風の動き

### Ⅲ-Ⅱ アンケート調査

他の地域の方々から神戸がどのような目で見られているかを確認するために、中国・四国地方の20の方々の方に協力して頂いて行った。

〈内容〉①…性別 ②…年代 ③…神戸訪問の有無と、あると答えた人へ、その場所

④…神戸の印象 ⑤…その他・意見など

〈結果・考察〉

- ①男10人と女10人で、意図的に半分ずつになるようにした。
- ②10代～70代までの方々で、無回答が2人いた。最も多いのは30代。
- ③14人(7割)の人が「ある」と回答。神戸は全国でも有名な都市の1つであると判断できる。また、その主な場所はポートタワーや六甲山・南京町や有馬温泉などであり、ガイドブックなどに多い場所ばかりだった。
- ④いろいろな印象についての意見が出たが、多かったものは「美しい」や、「異国のような街」「おいしいものが多い」などだった。神戸は文化のまちとして名高いと思われる。
- ⑤神戸に住んだ経験があるのは1人だけで、長田区に住んでいたようだ。また、親戚が住んでいるのは6人で、主に西区や須磨区。神戸に住んだ経験がある人は、もう少し多いと予想していたが、少ない気がする。

### Ⅲ－Ⅲ 観光地についての調査

自分には神戸に住む親戚が多いため、名所を聞いて、またガイドブックなどで調査し、以下の21の名所を調査した。

〈北区〉	有馬温泉・しあわせの村
〈西区〉	グリコピア神戸・農業公園（神戸ワイン城）
〈垂水区〉	五色塚古墳・明石海峡大橋
〈須磨区〉	須磨海水浴場・須磨海浜水族園・須磨離宮公園・須磨浦公園
〈長田区〉	鉄人28号モニュメント・三国志ガーデン
〈兵庫区〉	「平清盛」に関する名所
〈中央区〉	南京町・摩耶山（布引の滝）・異人館（旧居留地・北野周辺）・H A T 神戸（兵庫県立美術館など）・ポートタワー周辺
〈灘区〉	六甲山・王子動物園
〈東灘区〉	様々な美術館

※冊子で割り当てられたページ数の都合により、自分がおすすめるスポットのみを紹介する。

#### (1) 有馬温泉…北区

「有馬温泉」が初めて文献に登場するのは日本書紀であり、歴史は古い。以後12世紀以上にわたり、人々を癒やし続けてきた。有馬温泉といえば、豊臣秀吉でも名高い。彼は有馬温泉を愛し、茶会を開いただけではなく、1596年に大地震で傷んだ有馬温泉を復旧、一新したという記録も残っている。

また有馬温泉は都会からも近く、大阪や三宮から直通のバスも出ており、便利である。ぜひ一度は訪れてもらいたい。



▲〈写真1〉  
現在の有馬温泉

#### (2) 中央区周辺の名所…メリケンパーク・異人館・南京町

中央区内には、開国による外国人がつくった名所が多くある。〈写真2〉の北野異人館（写真は風見鶏の館）周辺は、たいへん美しい街並みが広がっている。この地域には約20の公開施設を含む30程の建築物が点在し、国の重要文化財に指定されている。



▲〈写真2〉  
北野異人街

右の〈写真3〉のメリケンパークの代表的存在は赤色の塔である神戸ポートタワー。高さはおよそ108mで、展望台からは街が一望できる。その他は、神戸海洋博物館があり、神戸港について学べる。



〈写真3〉▶  
メリケンパーク

〈写真4〉は、南京町の春節祭の様子である。春節祭は昭和62年に始まり、今日では神戸に春を告げる名物ともなっている。休日は春節祭でなくてもかなりの混雑である。見事な彫刻の門をくぐると鮮やかな色彩の中華料理店や土産物店がたくさん並んでおり、とても楽しい。ぜひ友人や家族で南京町を訪れて、楽しんでもらいたい。



〈写真4〉▶  
南京町の春節祭

〈写真4〉は、南京町の春節祭の様子である。春節祭は昭和62年

に始まり、今日では神戸に春を告げる名物ともなっている。休日は春節祭でなくてもかなりの混雑である。見事な彫刻の門をくぐると鮮やかな色彩の中華料理店や土産物店がたくさん並んでおり、とても楽しい。ぜひ友人や家族で南京町を訪れて、楽しんでもらいたい。

#### (3) 六甲山上の施設

六甲山上にはたいへん多くの施設がある。右の写真の六甲ガーデンテラスからは、明石海峡大橋はもちろん、大阪平野や関西空港まで見ることができる。また、それ以上に美しいのが夜景である。“100万ドルの夜景”といわれる六甲山からの夜景は、宝石を散りばめたようである。



▲〈写真5〉  
六甲ガーデンテラス

また、〈写真6〉のホール・オブ・ホールズ六甲では、世界中のオル

ゴールをコレクションするミュージアムであり、たくさんのことを学ぶことができる。その他にも、六甲山の清涼な環境  
 を活かして様々な高山植物などを育成する、  
 六甲高山植物園など、様々な施設がある。

〈写真6〉  
 ホール・オブ・ホールズ六甲



○観光地調査 まとめ

21の観光地調査を行い、5つの神戸の観光地の観点を見つけた。

- ① 美術都市…東灘区の各美術館・兵庫県立美術館
- ② 自然都市…しあわせの村・六甲山・須磨区の各観光地・農業公園
- ③ 異文化都市…中央区周辺の観光地・六甲山
- ④ 歴史都市…五色塚古墳・兵庫区と中央区周辺の各観光地
- ⑤ 防災都市…人と未来防災センター

●他都市との比較

神戸の観光地についてより良く知るため、関西の大阪・京都と、同時期に開港された横浜・長崎との比較を行った。今回は主に、その都市の名物となっている食品や文化、建築物を観点にすることにした。

▶大阪との比較

[食べ物]

神戸…ケーキなど洋菓子

大阪…たこ焼き・お好み焼きなどの粉もんや、串かつなど

[主な名所]

神戸…各美術館や博物館

大阪…なんばグランド花月や道頓堀、通天閣など

結論

神戸は **美**      大阪は **笑**

▶京都との比較

[服装]

神戸…洋風の服

京都…和風の着物

[宗教的建造物]

神戸…キリスト教会・モスク・神社

京都…清水寺・金閣・銀閣

[主な名所]

神戸…異人街・南京町

京都…二条城・御所

結論

神戸は **洋**      京都は **和**

▶横浜・長崎との比較

[観光地・名所]      | …ほとんど同じ

‡ …似ている

横浜…南京町      春節祭      山下公園

マリントワー      夜景◎

神戸…南京町      春節祭      メリケンパーク

ポートタワー      六甲山      夜景◎

長崎…中華街      グラバー邸

稲佐山      夜景◎

以上のことから、横浜－神戸－長崎といった共通の名所がとても多いことが分かる。

結論

神戸・横浜・長崎は **共通の名所が多い**。

この理由として考えられることは、開国である。江戸時代末期に海外へ開かれた3つの港の周辺には、たくさんの外国の文化流入があったことになり、開国が神戸の観光地に影響を与えたことは言うまでもない。

そのため、今でもこの3つの都市は、日本人からすれば、異文化な都市といえる。しかし外国人からしてみれば、もともと外国にあったものが移動してきただけであるので、観光として訪れる所ではないと考えているのかもしれない。

### Ⅲ－Ⅳ 阪神・淡路大震災について

#### －概要－

発生日時：平成7年1月17日（火） 午前5時46分

規模：マグニチュード7.2 最大震度7

震源：北緯43° 62′ 東経135° 03′ 明石海峡大橋の東約3km

震源の深さ：およそ14km

被災地域：神戸市・尼崎市・西宮市・芦屋市・伊丹市・宝塚市・川西市・明石市・  
三木市・洲本市・淡路市・南あわじ市

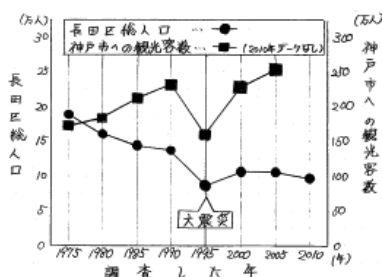
死者：6400人以上

特徴：日本初の近代都市における直下型の地震。

横ゆれと縦ゆれがほぼ同時で、たいへん大きな破壊力を持っていた。

#### －ボランティア元年－

上の概要で、被災地域として挙げた12の市。その中でも、最も被害の大きかった神戸市長田区について説明する。



↑〈グラフ3〉

長田区総人口と神戸市への観光客数

長田区は他の区に比べて、建物の密集度がとても高くなっていた。そのため、一度火が出るとそれは瞬間に燃え広がっており、およそ520万 $\text{km}^2$ （区全域の約2.6%）が燃失した。

左の図を見ても分かるように、神戸市への観光客数は、大震災があってもその5年後にはもとに戻っている。しかし、長田区の人口は、震災時に減少すると、なかなか戻っておらず、現在は大震災前の1990年に比べて、21%も減少している。

震災当日、電気・水道・ガスはもちろん鉄道や高速道路など、物資の全ての輸送経路がなくなってしまった。そのため、温かい食事や救援物資、また水までも飲めなくなってしまった。しかし、発生から2日後には、食料品や服・ストーブなどが届きはじめた。また、個人や様々な団体の炊き出しも始まった。これが“ボランティア元年”といわれるものだ。

それから神戸市民と多くの日本人が力を合わせて、美しい神戸を取り戻そうと努力してきた。しかしそんな中、大変だった大震災について忘れまいと、今でも様々なところにモニュメントや記念碑が残されている。〈写真7〉のメリケン波止場の写真の中央付近に写っている電柱とその左にある柵は大きく傾いている。また、その電柱を支えているコンクリートの地盤は波に洗われるままに保存されており、震災の恐ろしさを現在にも伝えている。



▲〈写真7〉  
メリケン波止場



▲〈写真8〉

人と未来防災センター 大型のジオラマ模型や壊れていく街の様子を映す映像、復興の様子をたどってゆく映像や展示、また防災知識も知ることができるコーナーもある。

他にも地震発生の1月17日には各地で様々な追悼行事が行われる。こういう行事や施設、モニュメントを残していくことは、街の復興を進めるのと同じくらい大切なものだと思う。

### Ⅲ-V 観光プラン作製

※経路・時間・料金は時刻表等の改正により変化があるので、掲載はせず、観光場所とだけしたいの観光時間のみを書くこととする。

#### ●日本人用

東京から2泊3日で、新幹線で神戸へ来た人のイメージ。

##### ○観光場所・時間

(1日目) …中央区周辺の各観光地

昼食を含み約6時間

宿泊地…有馬温泉

(2日目) } 六甲山上の施設と

宿泊地 } 夜景鑑賞・宿泊

(3日目) …平清盛関係スポット

昼食を含み約6時間

##### ○工夫・ポイント

やはり神戸ならここ！という場所を入れた。

また、神戸についてよく知ってもらえそうな場所を多く選んだ。

#### ●外国人用

アメリカからの外国人が3泊4日で神戸に来るイメージ。(1泊は機内泊)

##### ○観光場所・時間

(2日目) } 有馬温泉  
宿泊地 }

(3日目) } 六甲山上の施設と  
宿泊地 } 夜景鑑賞・宿泊

(4日目) …東灘区周辺の美術館等の見学。昼食を含み約5時間程度

##### ○工夫・ポイント

つくるのが難しかったが、神戸を知ってもらうというより、日本の文化として受け入れてもらいたいと思う。

### Ⅳ まとめ

#### ・外国人が神戸を訪れにくい理由

…開国したことにより、他地域よりも少し前に外国の文化が入り込み、多くの外国にある風景と似た姿(特に中央区周辺)をしているから。

#### ・日本人は神戸を訪れにくいのか。

…正反対であり、外国にある風景は日本にとっては少ないものだから、毎年、多くの日本人が神戸を訪れる。

#### ・外国人に対してどうすればよいのか。

…神戸にある昔からの酒づくりや美術などを分かりやすく外国人に案内できるようにして、神戸にある日本の文化を活かすことが大切だと思う。

#### ・阪神・淡路大震災との関係性はどうか。

…外国人については不明だが、日本人に対しては1995年に大きく観光客数が落ちこんでいるので、やはり大きな関係があったといえる。

### Ⅴ 感想

今年の自由研究は、とても時間がかかり、また調査も大変なものだったが、その分しっかりと充実したものができてよかったと思う。

しかし、時間が足りなくて市内の数ヶ所の観光地には足を運ぶことができず、全てを文献にたよってしまった部分があったので、とても残念だった。

それでも、自分の好きな地理的な分野での研究で、考えに沿っていたものだったので、楽しんで研究ができて、よかったと思う。

### Ⅵ 参考文献

・崎山昌廣 「神戸学」 神戸新聞社総合出版センター 2006年 付録編①～⑬

・福岡宏一 「神戸まちかど散歩」 神戸新聞社総合出版センター 2003年

・清水誠一 「人・街・ながた 一九九五・一・一七」 共同出版印刷 1996年 pp.6-8, p.115

・兵庫県企画県民部政策室統計課 「平成22年国勢調査結果速報から見た兵庫県の人口」 2011年